

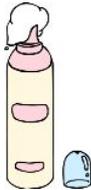
医薬部外品と化粧品はどう違うのですか。

医薬部外品は種類が幅広いので、ここでは化粧品と似た使い方をするものの違いに注目して説明します。

医薬部外品の中には、化粧品と見かけが似ている物もありますが、「医薬部外品」と表示されていることによって、化粧品と区別することができます。石けん・化粧水・日焼け止めなど、化粧品と同じように使用する医薬部外品には、「薬用化粧品」と呼ばれるものもあります。

医薬部外品と化粧品は、目的としている効果に違いがあります。どんな効果をお求めお使いになるのかによって、どちらに該当するものを買うか決めるとよいでしょう。

下の表に違いの一部を紹介します。

	化粧品に認められている効果	医薬部外品で、一般に認められている効果
 石けん	皮膚を清浄にする など	左の効果に加えて、 皮膚の殺菌、消毒 など
 入浴用品	肌を整える 皮膚に潤いを与える など	あせも 肩こり 神経痛 疲労回復 腰痛 など
 頭髪用品	フケ、カユミを抑える 毛髪にはり、こしを与える など (育毛効果は期待できない)	育毛 うす毛 脱毛の予防 発毛の促進 など
 化粧水・乳液など	肌のきめを整える 肌をひきしめる 肌をやわらげる など	左の効果に加えて にきびを防ぐ メラニン色素生成を抑えることにより日焼けによるしみ・そばかすを防ぐ(いわゆる美白効果)

	(ブラッシングを行うことにより)	歯石の沈着を防ぐ むし歯の発生・進行を防ぐ
歯みがき	むし歯を防ぐ 歯を白くする 歯垢を除去する	歯肉炎の予防 歯周炎の予防

ここにあげている効果はあくまで例示ですが、医薬部外品の効果として例示しているものは、いずれも化粧品には認められていない効果です。